



このまち思いエネルギー。

広島ガス

！暮らしの中の！

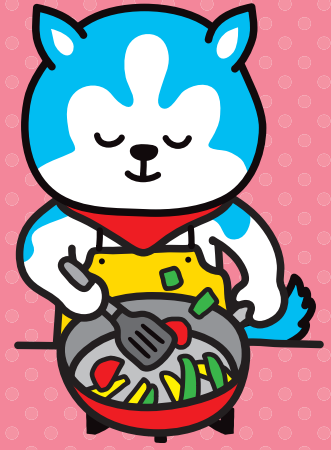
節ガス
テクニック



- キッチンで節ガス …… P1・2
- バスルームで節ガス … P3・4
- リビングで節ガス …… P5・6

キッチンで

節ガス



食器を洗うときは低温で

食器洗いの際に使用する
お湯の温度を下げると、省エネになります。



鍋底の水滴は 拭き取ってから火にかける

水滴を蒸発させるための
余分なエネルギーを減らしましょう。



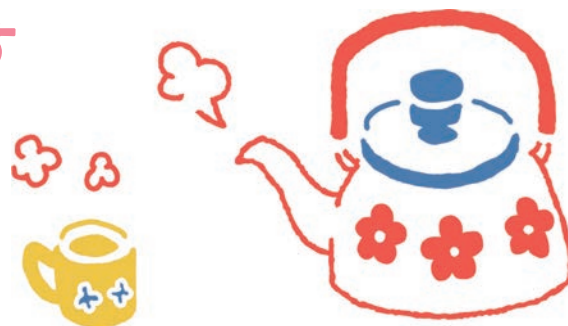
炎は鍋底からはみ出さない

鍋底から火がはみ出るような強火は、
ガスの無駄遣いです。



必要な分だけお湯を沸かす

電気ポットでお湯を沸かし
保温しておくよりも、
使う時だけお湯を沸かす方が
エネルギーの節約になります。



ひとつの鍋で同時に調理する

麺類等をゆでるとき、具材も同時にゆでると
別々に調理するよりガスの使用量を
減らすことができ、時短にもなります。



鍋を火にかけるときは ふたをする

熱が逃げるのをふせぐために、
鍋を火にかけるときはふたをしましょう。



バーナーのお手入れをする

バーナーが目詰まりすると
熱効率が悪くなるので、
定期的にブラシなどで掃除しましょう。



バスルームで 即ガス



浴槽のふたを閉める

浴槽にためたお湯が冷めないように、こまめにふたをするようにしましょう。



追い焚きの回数を減らす

お湯の温度が下がる前に、できるだけ続けて入浴するようにしましょう。



シャワーを使う時間を短くする

シャワーの時間を1分短くするだけで省エネになります。顔を洗う時も、お湯を出しっぱなしにするのではなく、洗面器にためて洗うと使う水の量を大幅に減らすことができます。



お湯の設定温度を下げる

冬はお風呂の設定温度を高めにしがちです。温度を上げすぎないように設定し、ムダを防ぎましょう。



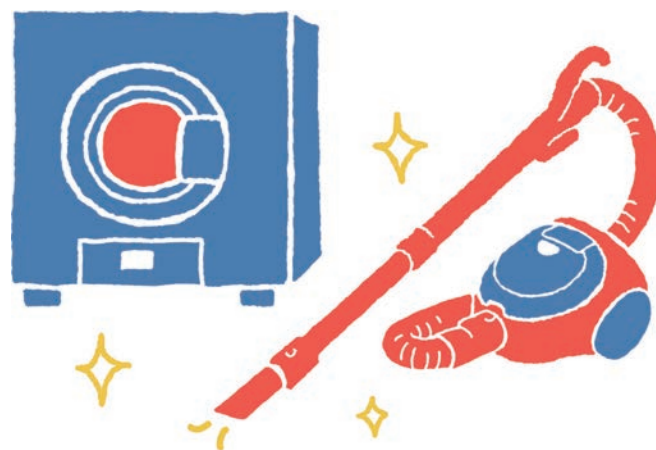
浴槽のお湯の量を少なくする

お風呂の水量を見直しましょう。お湯張りの量を少しでも少なくすることで省エネにつながります。

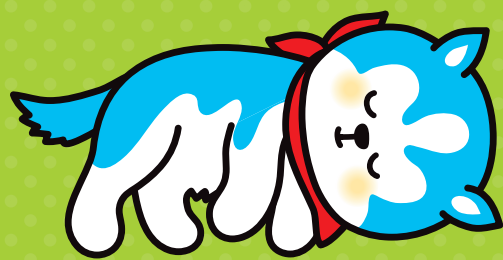


衣類乾燥機のフィルターを定期的に掃除する

フィルターが目詰まりすると乾燥効率が落ちるので、ホコリを掃除機で定期的に吸い取りましょう。



リビングで



節ガス

暖房の設定温度を下げる

冬の室内温度は高くなりがちなので、少し低めに設定してムダを防ぎましょう。



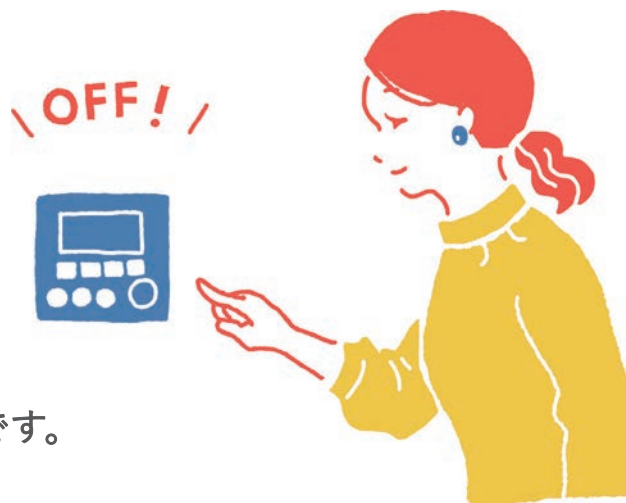
カーテンは隙間なく閉める

暖気が部屋の外に逃げないようにカーテンをしっかりと閉めましょう。



寝る前やお出かけ前は 暖房のスイッチを 早めにオフ

暖房機器はスイッチを切った後でも、
温かさがしばらく残ります。
余熱を活用することで省エネが可能です。



暖房機器は タイマーを使って 消し忘れ予防

誰もいない部屋を暖め続けないように、
タイマー機能を活用しましょう。



ファンヒーターの フィルターを定期的に 掃除する

フィルターが目詰まりすると、
暖房効率が落ちてしまいます。

